



# 第一礼拝次第

説教：郭 永東牧師  
通訳：尹 笑英姉  
司会：渡真利彦文牧師

前奏		
頌栄	540	会衆
主の祈り		//
プレイズ	「主の山に備えあり」 「叫べ全地よ」	//
聖書朗読	ヘブライ人への手紙 4:11-16 (新約聖書 p405)	司会
祈禱	90	会衆
賛美		
説教	「しっかり保とうではありませんか」	牧師
祈禱		会衆
賛美	270	会衆
献金		司会
報告		会衆
頌栄	新生 672b	牧師
祝禱		



## ファミリー礼拝

説教：渡真利彦文牧師  
司会：渡真利千佳子姉  
聖書：出エジプト記 3:1-15  
メッセージ：「神の共感・モーセの召命」

### <巻頭言>

「逃れる道も備えてくださる神様」  
牧師 郭永東

全世界が異常気象で苦しんでいます。最近起こった洪水で大きな被害を受けています。大勢の人が怪我をし、亡くなりました。また、家も失いました。ニュースを見ると残念な気持ちになりますが、一方では人間的な思いから‘沖繩は被害がなくてよかった’と思ってしまいます。人間の心はこのように風にそよぐ葦のようだと感じます。

聖書にも神様が洪水で世の中を裁かれることが描かれています。創世記 6:5 では「地上に人の悪が増し」、「常に悪いことばかりを心に思い詰っている」という理由で裁きがあったと語っています。しかし、神様の裁きにはいつも憐みが伴います。神様は私たちを行き止りに追い込ませる方ではありません。いつも裁きの中心に救いの道を備えてくださるのです。洪水の裁きには箱舟を備えられ、ヨセフを通してエジプトの飢饉から逃れさせてくださいました。

イスラエルの人々が 70 年間バビロンの捕囚になるというエレミヤの預言に神様はこう言われました。

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

—エレミヤ 29:11-

人生に良くないことが起こる時、現実には苦しいかもしれませんが、それを超えての神様が計画されている将来と希望を考えてみてはいかがでしょうか？神様はいつも逃れる道を備えてくださるということを心に留めていただきたいと思います。